

保健体育科学習指導案

指導者 眞島宏子

1, 日 時 平成18年 7月 7(金) 1校時

2, 学 級 3年1・4組女子 合計27名 上田中学校体育館

3, 主 題 ダンス 「現代的なリズムのダンス」

4, 主題について

ダンスは、個人や集団で表現したいイメージを全身を使っていろいろな動きに変化させていくことに喜びや楽しみを感じる運動であり、年齢・性別に関係なく誰でもが楽しめる生涯スポーツである。人間は本質的に他の人に自分の思っていることや感じたことを伝えたいと願っている。個性を生かして自分の身体でリズムカルな動きにして表したり、友達と一緒に思ったことや感じたことを表現する楽しさを知ることができる。現代的なリズムのダンスは、リズムの取り方や動きを工夫したり、相手と対応したりして、全身で動きやイメージを工夫しリズムを捉えて自由に踊ることができる。また、まとまりのある動きを工夫して仲間とリズムに乗って踊ったり見せ合ったり、互いの動きとリズムの楽しさをわかち合い、心を解放することができる。これらのダンス学習「踊る・創る・観る」を通して、自分の考えや感じたことを個人や仲間と一緒に体で表現し、お互いに感じ合い、触れ合っていく中で、望ましい人間関係の育成が図られると考える。

3年1・4組の生徒は、真面目に授業に取り組んでいる。積極性のある数名の生徒が学級を引っ張り雰囲気を作っている。物事に対して意欲的に取り組もうとしているが、自分の感情を表現したり言葉を出すことに時間がかかり積極性に欠ける生徒もいる。授業の初めのアンケートでは、ダンスが好きと答えた生徒は20名、嫌いだと答えた生徒は6名(欠席1名)いた。好きな理由としては、「皆で一体となって1つのものを作り上げられることが楽しいから」「友達の新しい部分を発見でき、クラスで明るくなれるから」等があげられる。嫌いな理由としては、「リズムに乗れないから」「動きを考えられないから」等である。自分で表現することに対しては周囲から見られているという恥ずかしさからか、なかなか自分の心と体を解放することが難しく、動きは小さくなり、リズムに乗れない傾向にある。生徒は1年生では、「よさこいソーラン節」の模倣を中心に、踊る楽しさを体験した。2年生では、現代的なリズムのダンスを学級毎に創作し、完成をさせてきている。3年生では、グループを増やし、ダンスの構成すべてを制作することを目標にしている。

そこで、指導にあたっては、創作ダンスに対する関心を高めるために、授業の中に現代的なリズムのダンスを取り入れることにした。グループごとのダンスを自分たちで構成させることにより、創作能力を高めさせたい。さらに体ほぐし運動を生かし、手をつないだり仲間と触れあったりする場面も設けた。このダンスの授業において、3年生では、テーマも内容もすべて自分たちで構成させることを目標にしている。抽象的なイメージから、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりできるように課題を解決するための計画・活動・評価の仕方を学ばせたい。自己の感じ方や工夫を率直に表現し、お互いの良さを認め合ったり、協力したりして課題に取り組む態度を学ばせたい。このことを学校生活の諸活動に生かし、グループごとの絆を深めさせたい。

5, 指導と評価の計画 (別紙)

6, 本時の達成目標

運動への関心・意欲・態度	ダンスの特性に気付き、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組もうとしている。
運動についての思考・判断	曲やスローガンにあった動きを考え、課題の解決を目指して、練習や発表をしている。
運動の技能	リズムを捉えて、まとまりのある動きを楽しく踊ることができる。
運動についての知識・理解	基本的な動きや隊形を分かり、構成しようとしている。

7, 本時の指導の構想

(1) 指導構想及び留意点

本時は、指導の6時間目にあたる。本時の具体的な構想としては、各グループ内で個人個人の動きをお互いに表現することにより、自分のイメージをふくらませ、発展させ柔軟な発想ができるようにさせたい。創作した動きを発表させ、他のグループと自分たちのグループのダンスの相違に気づかせ、それまで以上に意欲を持って創作活動に取り組ませたいと考えている。仲間の動きのいい部分を参考にしながら自由に、リズムカルな動きを構成し、発表し、さらにお互いの表現の良さを認め合わせたいと考える。

(2) かかわり合いを生かす手だてについて

現代的なリズムのダンスは、リズムカルに自分たちで体を使って積極的に表現するという必然性をおさえながら、動きを構成させたい。前年度、自分たちで創作したダンスをよりどころに、本時ではビートとテンポによって、リズムの取り方や動きを工夫して自由に踊らせたい。ステップを中心に工夫した動きを創作させ、グループ毎に交流しあい、成果を高め合いたい。

8, 本時の展開

A 達成度 B 学習速度 C 取り組み方(学習の仕方)
D 見方・考え方 E 興味・関心 F 生活経験

段階	過程	時間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	教材・教具等
導入	課題確認	10分	1. 意欲的にウォーミングアップを行う。 2. 集合・整列し元気よく挨拶をする。 3. 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ビートとテンポによって、ダンスを楽しもう!</div>		1. 学級毎にウォーミングアップ用のダンスを踊る。 2. 欠席者・見学者の確認をする。 3. 前時の授業ノートの記述内容や発表から、学習課題を導き出す。グループの課題・練習内容を発表し確認し合う。	・ラジカセ、テープ、CD ・移動黒板 ・紙板書
展開	課題追究	30分	4. 既習の動きの確認をする。 5. グループごとに自分の動きを創り、グループ内で発表し合う。 ・案を出し合う。 ・アドバイスをしあう。 ・踊る。 6. ミニ交流会をする。 ・グループ毎にできたところまでを発表する。	5. [運動についての思考・判断] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習や発表をしている。</div> 観察・巡回指導 A: 表現 ステップ カノン スイング 対比 C: 自分の役割を確認させ、自分の動きを見つけさせ、表現させる。 6. [運動の技能] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">リズムを捉えて、仲間と関わり合いながら、動きを楽しく踊ることができる。</div> 観察・巡回指導 A: 表現 声 構成 C: グループの仲間の動きに合わせて発表させる。	4. グループ全員での動きを確認させる。 5. グループでの役割をよりどころとし、動きを創作する。動きが決まっていな生徒に対して、助言をさせる。 C・D 6. 各グループでの発表をさせる。発表を見て、お互いの良さを発見し合う。 C・F	・ラジカセ ・テープ ・ラジカセ ・テープ
終末	まとめ	10分	7. 集合・整列し、本時の学習を振り返り、成果と課題について話し合う。 8. グループ毎に発表する。 9. 元気よく挨拶をする。協力して後かたづけをする。		7. グループ毎に新しい動きの発見ができたか、を話し合わせ、次時の活動につなげる。 8. 課題となったことばを使いながら、グループの代表に発表させる。 9. 後かたづけの指示をする。	・ダンスノート

3年 保健体育		単元(題材)名 ダンス			総時間 14時間扱い		
学習指導要領の指導事項 ダンス(現代的なリズムのダンス) (1) 自己の能力に適した課題をもって、現代的なリズムのダンスを行い、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりすることができるようにする。 (2) 互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができるようにする。 (3) グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫することが出来るようにする。							
単元の目標		主な学習活動	評価規準	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
1. 互いの良さを認め合い、協力して練習したり発表したりすることができる。 2. グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫することができる。 3. 自己の能力に適した課題をもってダンスを行い、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりすることができる。 4. 発揮できる課題設定をし、練習や発表の仕方を工夫することができる。		・現代的なリズムのダンスを創作する。 ・リズムの取り方を工夫し、動きやすいビートとテンポを選び、楽しく踊り発表し合う。	B = 「おおむね満足できると判断される状況」	ダンスの特性に気付き、互いの表現を認め合って、楽しく授業に取り組もうとしている。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習や発表をしている。	リズムを捉えて、まとまりのある動きを楽しく踊ることができる。仲間と関わり合いながら、リズムをとり踊ることができる。	ダンスの特性や学び方を分かり、グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。
			A = 「十分満足できると判断できる状況」の例	ダンスの特性を理解し、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組もうとしている。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。	まとまりのある動きやリズムを捉えてグループ毎に工夫し、創作し楽しく踊ることができる。	ダンスの特性や学び方を分かり、練習や発表に生かしている。
			C = 「努力を要すると判断される状況」の生徒への指導の手だての例	ダンスの考え方に基づく行動の仕方を尊重する態度が身につくよう個別に指導する。	適した課題を指摘し、解決方法を助言しながら個別に指導する。	創作した動きができるよう個別に指導する。	ダンスの特性や学び方を分かるよう個別に指導する。
次	時	主な達成目標	主な学習活動	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
1	2	ウォーミングアップを覚えて踊ることができる。	既成の動きをクラスで踊ることができる。	ダンスの特性に気付き、協力しながら、楽しく授業に取り組もうとしている。		動きを確認して、楽しく踊ることができる。	
2	1	グループの係・目標・スローガンを決めることができる。	曲を分析し、全体像をつかむ。グループの係・目標・スローガンを決定する。	ダンスの特性に気付き、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組もうとしている。	グループや自己の能力に適した係・目標・スローガンを決めている。		ダンスの特性や学び方を分かるようとしている。
3	10 本時 3/10	現代的なリズムのダンスを創作することができる。創作した現代的なリズムのダンスの動きを改善することができる。	現代的なリズムのダンスを創作する。	ダンスの特性に気付き、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組もうとしている。	曲やスローガンにあった動きを考え、課題の解決を目指して、練習や発表している。	リズムを捉えて、まとまりのある動きを楽しく踊ることができる。	基本的な動きや隊形を分かり、構成しようとしている。
4	1	創作した現代的なリズムのダンスを発表することができる。	創作した現代的なリズムのダンスを発表する。	ダンスの特性に気付き、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組もうとしている。	発表を見て評価している。	リズムを捉えて、まとまりのある動きを楽しく踊ることができる。	